

みんなが壱岐に居たくなる、 戻って来たくなるまちづくりを進めます！

人口対策プロジェクト

(通称 プラス7000)

めざす姿を実現するためには、一定の人口規模が必要であり、その目標を2050年2万人と設定しました。そのためには、2050年時点で予測されている13,199人から約7,000人の人口を増やさなければなりません。

高校生・若者を中心に働く環境の充実に
取り組み、島外へ出ていく人を減らすと
ともに、若い世代が壱岐に戻ってくるよう
働きかけます。

- 島内の産業を元気にして、働く人を増やし、給料が上がるようにする
- 島外から新しい会社を呼んで、働く場を増やす
- 新しい分野の仕事をつくったり、お店や会社を始めたい人を応援する
- 働きたい人が仕事を見つけやすくする

充実した子育て支援により、安心して
生み育てられる環境をつくるとともに、
みんなが元気に長生きできるよう地域
全体で健康づくりに取り組みます。

- 出産から教育までの切れ目のない子育て支援
- 子育て期間中でも働きやすい環境づくり
- 性別に関係なく、誰もが平等に働いたり活躍できる社会をつくる
- 教育の質の向上
- 島内で高度医療や健康診断を受けやすい環境づくり

みなさん一人ひとりが壱岐のまちづくりを担う人
一緒に壱岐を盛りあげよう！

壱岐のまちづくりの担い手

(★市民が担い手になる ★島外からの担い手を迎える ★島外にも担い手を増やす)



一緒に前へ、壱岐新時代へ。 第4次壱岐市総合計画



ワクワク稼げる
(やりたい仕事ができる)

イキイキ長生き
(安心した暮らしが送れる)

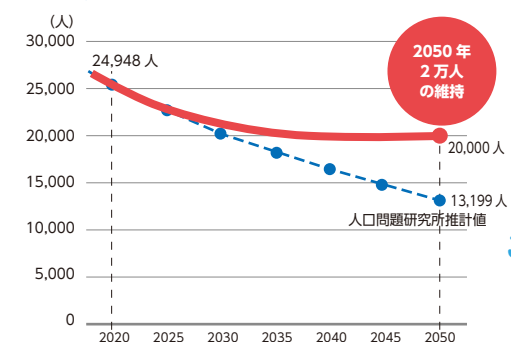
ハビハビ学べる
(なりたい自分になれる)

総合計画とは

みなさんは将来の夢や目標をかなえるために、今どんなことをしていますか？壱岐市では「2050年に壱岐をどんなまちにしたいか」を考え、その目標を実現するために、2025年から2029年の5年間で取り組むことを考えました。このまちの設計図が「総合計画」です。住んでいる人、島外に居ながらも壱岐を応援している人、みんなが一緒になって取り組む内容をまとめています。

壱岐市の現状

壱岐市の人口は減り続けており、2050年には13,199人になると予測されています。



お店の数が減ったり
働く人の数が減ったり
このまま変われず人口が減っていく未来



こんな壱岐を目指します

基本目標 1

希望の仕事があり稼ぐ力がある島

高校生はもちろん島外から壱岐に戻ってくる人や新しく壱岐に移り住む人が求める仕事があり、市内にあり、働きたいすべての人が将来にわたり、しっかりと稼げる環境がある。



基本目標 2

すべての市民が自分らしく安心して健康に暮らせる島

住み慣れた地域でいくつになっても自分らしく安心して健康に暮らせる。



基本目標 3

未来を育む子育てと学びの島

不安なく安心して楽しく子育てができる。成長に合わせた質の高い学びの環境がある。



壱岐市のめざす姿

「幸せ実感」
ともに創る新たな未来

2050年人口
2万人

人と自然、テクノロジーが融合した幸せを実感できる暮らしと未来への可能性に満ちた壱岐市を目指します！

基本目標 4

地域の価値と新しい人の流れが未来をつくる島

国内外の多くの観光客や島外の企業が壱岐に関心を持ち、壱岐を訪れたり、島内で事業を始めたり、島外で壱岐のものを購入したりして壱岐を応援している。



基本目標 5

持続可能な社会基盤が整い安全な暮らしを守る島

様々なテクノロジーが広がり、便利な暮らしが実現している。道路や建物なども長く使えるように整えられ、これからも安心して暮らせる環境が整備されている。



基本目標 6

効率的で質が高く持続可能な行政力を備えた島

効率的で質が高く、持続可能なまちづくりが進められている。デジタル技術を活用し、市民が窓口でも自宅でも便利に必要なサービスを受けることができる。

